

会 議 録

1 会議名

令和5年度第3回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項

- ・中山間地域農業「将来ビジョン」の完成と実践に向けた取組方針について
(公開)

○協議事項

- ・意見交換会について（公開）

3 開催日時

令和5年6月9日（金）午後6時00分から午後6時56分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、
手塚哲夫、山本茂、庄山健、秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊（3人欠席）
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、小林次長、内藤次長、関根産業グループ長、清水教育・文化グループ長、市村市民生活・福祉グループ長、高橋建設グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査、金井主任
(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容（要旨）

【内藤次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を手塚委員に依頼。

4 報告事項 中山間地域農業「将来ビジョン」の完成と実践に向けた取組方針について事務局からの説明を求める。

【関根産業G長】

- ・資料1-1から1-4に基づき説明

【平井会長】

質問、意見のある方の挙手を求める。

【庄山委員】

計画は素晴らしいものなのでいいと思うが、問題は実働部隊、振興会とか新しい組織の立ち上げがうまくいくのかどうかというのが問題である。今平場でも生産組合をやめたり、あるいはこれ以上規模が拡大できないということで、今の規模でやっとな動いていると、そういう現状の中で中山間地の方へ応援に行ったりすることが可能なのか疑問である。その辺の実態はどうなっているのか。

【関根産業G長】

平場も生産組織が弱体化しているという話はお聞きしている。今回、活動のエンジンとなる組織を立ち上げるにあたって、現在板倉区の中の農業関係者で主だったところというと、認定農業者の方が40人、うち法人としては10法人ある。生産組合の連携組織の事務局をJAえちご上越板倉支店の営農センターが行っている。こちらには7法人を含め14団体加盟し、毎年会議も開いている。その他にも、そば生産組合など農業に関係する団体の皆さんに声がけをして、情報共有をまず進めていきたいと考えている。今農業に携わっていない方々、例えばまちづくり振興会やまちづくり振興会の中に新しくできた創生事業部会の皆さん、それからJAえちご上越の青年部の方々、そういった方々にも意見を伺う機会を設けて、この組織がどのように活動を続けていけるのか、それを行政と一緒に

に考えていきたいと思っている。隣の清里区において清里農業公社が清里1農業化計画により、中山間地と平場の連携が図られている。そういった具体的な例を参考にしながら、研修や協議を重ねて組織の基礎作りを進めていきたいと考えている。

【庄山委員】

新しい生産組合の連合体というのはどの辺まで進んでいるのか聞きたい。JAの話が出たが、聞いたところによると山部の生産組合が今年JAの表彰をもらったが、一番若い人で74歳という話を聞いた。本当に新しい組織を立ち上げてうまくいくのか心配しているがどうか。

【関根産業G長】

この計画ができたのが3月末であり具体的には動いていない。ただ、前回この未来農業づくり会議を終えたとき、参加者の皆さんからは「実働部隊がいなければ絵に描いた餅に終わる。最後は人材確保であって、このプランの実現に向けて知恵を出しながら継続してやっていきたい」という意見もあった。我々としては、未来農業づくり会議の皆さんの意思を尊重し、できる限り仲間づくりというかたちでこの事業の遂行をサポートしていきたいと考えている。また、これには市だけでなくJAや県の方からもサポートがあるので、それらの情報を集めながら皆さんと少しずつでも中山間地農業が継続されるという目的を達成するために取り組んでいきたいと思っている。これからの活動になるので、また地域協議会の皆さんからもご指導ご支援をいただきたい。

【平井会長】

他にないか。

【池田委員】

私はこの会議に中山間地の人間として参加し、会議の中でみんなでまとめ上げたものである。ここまで来るのに相当な時間が掛かり最終回でなんとかビジョンを作り上げた。庄山委員が心配されているが、今回こういうのを作らなくてはいけないということで作った。実行にあたっては絵に描いた餅になるかもしれないが、こういう組織を作っていないといけないという切実な現実がある。私自身も田んぼを少しやっているが、今のところは何とかなっているが、将来的には

平場の人から協力していただきたいと、ある方をお願いしている。だから、これは実行しなくてはいけないということで立ち上げた。将来的にどうなるか分からないが、やらなくてはいけないということでまとめた。そこは理解してもらいたい。

【古澤総合事務所長】

補足になるが、農業に対するいろいろな不安や想いを私も聞いているが、やはりこうして一つの書面にして残すということについては、皆さんが危機感を持っていて将来像を描いていて計画を作ったということである。まず今の現状を考えてみると、板倉の農業を今後どうしようかという主体的に取り組む母体というのは私としてはないと思っている。そういう主体的に取り組んでいく団体という人たちを作らないといけない。いろいろな課題に対してどうやっていくのか、そういう議論する場をまず作っていくという目的のために、先ほど産業G長が申し上げたようなそのような意見交換から始めようと思っている。また、農業委員会でも地域計画ということで今後の農地をどうしていくかというところを、所有者の皆さん、また農業者の皆さんからお聞きしながら、どのようにやっていくかというところも今後取り組んでいく。中山間地も平場も板倉全体の農地をどうやって守っていくかというのを、具体的に取り組んでいかないといけない。大きな農業団体または建設業者の方が担っているところが多いが、すべてそこで賄っているかと言えばそうではないので、板倉の農地を自分たちで守るんだという組織作りを、まずこれをベースに作っていくことが大切だと思っている。そこはいろいろな不安があると思うが、必ず進むのだという想いで臨みたいと思っている。

【手塚委員】

山間地で農業をやっている立場として一言言わせてもらいたい。池田委員も会議立ち上げの時から参加されて、こういったかたちの土台を作っていた。中山間地の農業というと中山間地の直接支払い、集落協定であるが1期が5年で既に4期が終わり、現在5期の4年目に入っているが、1期が終わるたびに加入戸数が減ってきてどうにもならない。来年で5期が終わるが、そうするとまたさらに加入者が減っていくだろうと思っている。今所長が言われたように一つの核となるそういう組織は大事なことだが、山間地とすれば年々耕作放棄地が増えて

きているし、山間地で1年田んぼを荒らしてしまうともう田んぼは復旧が無理という状況がある。そういう状況にならないようにしていきたいが、山間地としてはなかなか厳しい状況があると思っている。

【平井会長】

他に何かあるか。

(特になし)

この件については以上とする。

次に5協議事項 意見交換会について事務局からの説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料2に基づき説明。

【平井会長】

ただいま事務局から説明があった。この地区別の意見交換会は、我々の地域協議会としては一つの大きな行事である。昨年も意見交換会を実施したわけだが、昨年の状況を振り返ると、前半の説明が長すぎたと思っている。当日は総合事務所の職員も同席したので、地区によっては総合事務所への要望が多かったところもあった。地域協議会の意見交換会なので、行政への要望は地域協議会が聞いて、行政につなげるというかたちにするよう皆さんのご協力をお願いする。話を聞くだけでなく、しっかりと意見交換ができるように、各委員については、自主的審議で行ってきたことや地域の課題について、自分の意見を発言できるようにしてもらいたい。また、進行係はすぐに総合事務所に説明を求めるのではなく、フリートークで話しやすい雰囲気を作っていくように皆さんで協力してもらいたい。質問、意見のある方は、挙手をお願いする。

【小林委員】

昨年場合は健康福祉部会として、資料を皆さんに提示してそれに対しての質疑がかなりあったが、特に今年は進行係のウエイトが非常に高い。そうすると、特に板倉区の未来を切り開く観光についての皆さんに提案する骨子が非常にウエイトが大きい具体的などのように考えているか。まだあの内容については、地域協議会の中でコンセンサスを得ていない。なのでどのようにまとめるのか。それを聞いて進行係は意に沿ったかたちに持っていければと思うが。全くの意見を

聞くだけでいいのか。

【小池地域振興班長】

内容的には今まで取り組んできたことのまとめてお示ししたいと思っている。この場で地域協議会としてこうしますという意見もちろん言えないところもある。今までやってきたことの説明をして、やすらぎ荘とゑしんの里記念館についても皆さん使っていきましょうというような呼びかけで終わるような内容で考えている。住民の皆さんにお聞きしたいのが、やすらぎ荘のことをどのように思っているのか、ご意見等あれば頂きたいと思うし、ゑしんの里についても大事な施設なので、住民の皆さんからもっと関心を持ってもらって利用してもらいたいので、その辺を地域協議会としても呼びかけてみたらどうかと思っている。

【平井会長】

今の話だと地域協議会が主体なので、イニシアチブは地域協議会がとってほしいというような話だと思うので、大変だと思うがよろしくお願ひしたい。

【吉田委員】

流れの確認で教えてもらいたいのが、資料2の4報告のところでもその他5分程度地域の課題などというのが上がっているが、報告事項なので具体的に何を報告するのか。

【小池地域振興班長】

連協の会長へは何か話題にしてもらいたい地域の課題があれば話してくださいというような話もしているが、なければないでフリートークになると思う。もしあれば、地域の方からなんでも気づいたことを出してもらえればというように思っているの、そのようなシナリオを作りたいと思っている。

【庄山委員】

この会は傍聴はしていいのか。

【小池地域振興班長】

委員で決めていただきたい。

【平井会長】

皆さん、それは問題ないか。

(異議なし)

傍聴は結構である。

【小林委員】

昨年は事前に町内会長から地域の課題等についていろいろと意見をいただいた中では、ほとんどはハードの面ばかりであった。何か把握されているものがあれば別だが、何がどのように出てくるのか心配である。

【小池地域振興班長】

昨年度は針地区は消雪パイプの話とか道路の話とかいろいろと出ていた。また同じような話が出るかもしれないが、それは仕方ないと考えている。昨年度参加されている方もいらっしゃるかもしれないが、初めての方はまた同じような話をするかもしれないし、昨年度の意見交換会でいろいろな意見や質問が出てきたときに総合事務所で対応できるものは対応しているので、どのような話が出るかどうかは見えない部分はあるが、その辺は仕方ないのかなということで皆さんのご協力をお願いしたい。

【古澤総合事務所長】

今の話で私も昨年出て、草刈りのことや道路補修要望が多かったが、その場で自分で答えてしまい、そこでのやりとりが結構長かったというのがあった。そこは帰ってきて反省したのだが、あくまで地域協議会と皆さんの意見交換会なので、私も全地区出るが、そこは把握させていただき意見として承らせていただくつもりである。総合事務所に対する要望や意見が多く出ても、あまり時間を掛けないようにしたいと思っている。

【小池地域振興班長】

意見交換会では、報告として地域独自の予算の資料と公共交通計画についての資料も出す。その後の意見交換は、自主的審議事項でやっていること、地域独自の予算、公共交通計画、一つ一つについて皆さんの意見をお聞きしたいと思うので、そのような進行シナリオにさせていただく。新しい提案が出るかとか。その場で聞いて何かアイデアが出るとかということではないが、住民の皆さんがこういったことに対してどのように感じているかということをお聞きしたい。公共交通計画については、6月5日に板倉地区公共交通懇話会が行われ、古川副会長からも出席いただいたが、市としてコミュニティバスというのを今後計画に入れてい

く流れもあるので、それについて皆さんの意見をお聞きしたいと思っている。資料の方はいろいろとあるので何も意見が出ないのではないとか話題がないのではないかという心配はないと思っている。

【平井会長】

他に何かあるか。

(特になし)

なければ、各自担当の出席をお願いします。

次に6その他に移る。事務局から何かあるか。

【小池地域振興班長】

- ・4区合同研修会について説明

【平井会長】

質問、意見のある方の挙手を求める。

(特になし。)

その他何かあるか。

【池田委員】

地域協議会だよりだが、今年度の編集委員は私と小林委員、手塚委員、植木委員で内容等検討していくので、協力していただきたくお願いします。3回の発行を予定しており、皆さんから何か記事とするものがあれば提供いただきたい。

それから先日、筒方地区のふきんとまつりを開催させてもらったが、皆さんから多数のご来場をいただき感謝する。秋にはそばまつりを開催したいと考えているので、ぜひ来ていただきたい。

【平井会長】

他にないか。

【小池地域振興班長】

まず、前回の会議で協力隊の方から来年度の地域独自の予算に向けてヒルクライムレースを考えたいということで検討会を開こうということになったが、それについては6月下旬に行う予定とし、会長、副会長と部会長へ案内させていただくのでよろしくお願いします。

【平井会長】

- ・ 次回の地域協議会の日程について確認。

【古川副会長】

- ・ 挨拶

【内藤次長】

以上で、第3回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-78-2141（内線123）

MAIL：itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。